

日本縦断走り旅

鈴木秀夫

あらためて日本縦断を振り返ると59日間にわたって日本最北端の地北海道宗谷岬から本土最南端鹿児島県佐多岬までの3146kmをよくぞ完踏したと「自分で自分をほめてやりたい」くらいに感心しています。

歩幅わずかに65cm、休むことなく動かし続ければ特別ではない、こんな私にも出来てしまうのだな～と思っています。もっと早い時期にこのような体験をしていれば歩む人生も違っていたかもしれませんね。

走り旅ではあれほど細かく地形図を見るのは初めての経験で、書き込まれていない道路があったり地形図の道路形態と現況がまったく違っていたり、街道探しならではの体験をさせていただきました。しかしたびたびコースを間違え「なんでこんな簡単なところで間違えるのだろう」と真剣に落ち込んでいたときもありましたが、走友に助けられ徐々にそのコツを得て、地形図を見る事がだんだんと楽しくなりましたが、それは旅の終盤にきてのこと、むずかしいコースで悩むのも街道走りの醍醐味かとおもいました。

そんな旅での楽しみは、陽ざしを浴び風を感じつつ見知らぬ街を一人ポツンと走っているだけで、ただそれだけで最高の気分になれる事です。山や海や林・あぜ道や自然のままの小川も見慣れぬ小鳥も小魚も、道路も商店街も自分の五感を通して感じられるすべての物が、私を癒してくれる対象物であったような気がします。

そんなこんなで長い長い走り旅のなか、いろいろ感じ楽しませてもらいましたがなんと言っても、この走り旅のために何年も前から準備をして走るコースの設定から宿泊先の手配等々この縦断に伴う作業が数多くあることに気づかされました。

また時間を割いて私たちの為にエイドを設置してくれたり、声援を送ってくれたりと多くの方が応援をしてささえてくれていたことを実感しました。

それらの多くの人たちのご苦勞や励ましのおかげに敷かれた安全なレールの上を、私たちは走らせていただいたわけですから、この走り旅が快適でないはずがなく思う存分に楽しみ、これ以上はない至福の時間を味わいさせていただきました。長い旅は終わりましたが気持ちはいまだ高揚しており、さて次は・・・と夢は広がるばかりです。

この走り旅に参加できたことを心から感謝しております。

ありがとうございました。